

「公共事業コスト構造改革プログラム」

施策名：計画・設計から管理までの各段階における最適化

～単価等の積算の見直し

起伏修正 のおける砕土均平作業の一元化による建設コストの縮減

工事名：畜産担い手育成総合整備 苫前地区 第41工区

概要：従来 ディスク砕土+ブルドーザ整地



新 ディスク砕土ブレード付き

効果：作業工程の簡素化

施工単価の縮減

従来 127千円/ha

新 74千円/ha

施工実績 5.8ha

従来 740万円

430万円 = 310万円縮減

ディスクハロー（ブレード付き）



作業状況



「公共工事コスト縮減対策に関する新行動計画」

【施策名() 工事コストの低減 (1) 工事の計画・設計等の見直し 設計方法の見直し】

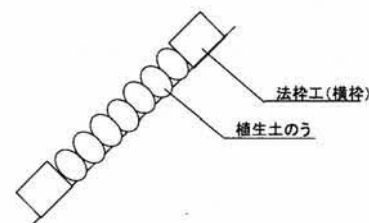
経済比較等による設計(現場打法枠工の植生吹付工等による枠内緑化)

工事名：杉谷地先復旧治山工事(後志支庁産業振興部林務課)

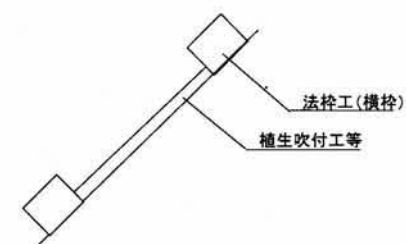
概要：現場打法枠工の枠内緑化を従来の植生土のうから植生吹付工等の工法を採用

効果：従来工法に比して約3,000円/m²のコスト縮減

・斜面の勾配、土壌硬度、土質、風化の程度等により
枠内緑化の工法を決定。
・緑化工法は、植生基材吹付、客土吹付、繊維ネット・
有機材散布の併用、客土注入マット等がある。



従来



新工法

植生基材吹付状況



完成



「公共工事コスト縮減対策に関する新行動計画」

【施策名：（ ）工事コストの低減 （1）工事の計画・設計等の見直し 技術開発の推進 】

民間の新技术の利用

工事名：岩見沢石狩線 特1工事（道州） （札幌土木現業所当別出張所）

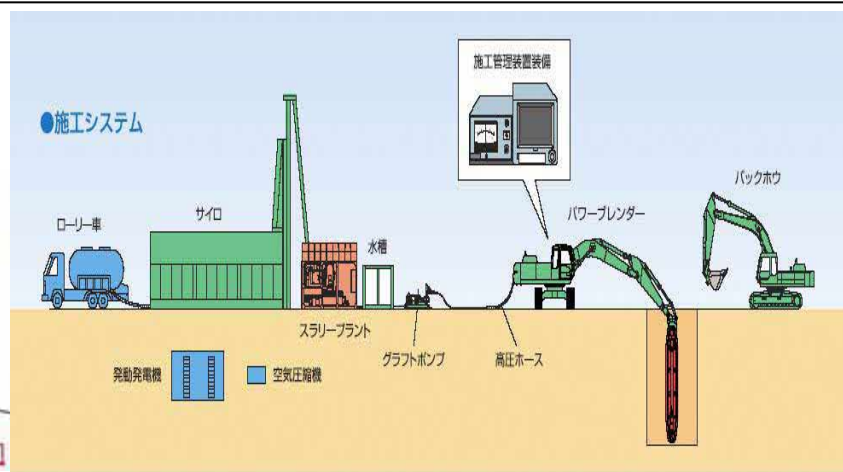
概要：軟弱地盤のすべり対策として、深層混合処理工法に換えパワブレンダー工法の採用

効果：改良材の使用量が低減できることや、日当たりの施工量が比較的多いことなどからコストの縮減が図られる
従来工法に比して約340万円のコスト縮減

パワブレンダー工法

セメント・セメント系固化材などの改良材をスラリー状に混練後地中に噴射し、トレンチャーにより現位置の軟弱土と改良材を強制的に攪拌混合し固化する。

1日当たりの改良土量が比較的多い。
上下方向の攪拌のため、側方に対する変位量がほとんどない。
上下間の土質を均等に混合攪拌可能であり、中間層に砂質土がある場合には改良材が少なくて済む。
比較的狭い施工ヤードや緩やかな傾斜のある場合でも施工可能である。



トレンチャー



施工状況(1)



施工状況(2)



プラント